

～センター授業が始まりました～



新学習指導要領の移行に伴い、センター授業は、小学校3年生が対象となります。今年度はその移行期として、5月～7月はこれまでどおり4年生が、9月～10月は3年生がセンターで授業をします。

4年生の授業は、5月6日の芦原小学校がトップバッターでした。昨年と少し違うのは、コースが3つになったこと。野鳥観察、昆虫観察と水辺の動植物です。昨年までのようなザリガニつりは行いませんが、その代わりにザリガニに触れるようにしました。最初は恐がっていた子どもたちも徐々に慣れてきて、最後はほとんどの子どもたちがザリガニに触れることができました。ザリガニだけではなく生きものを手にとってじっくり観察することで、今まで気づけなかった特徴をよくとらえることができました。まさに、実感を伴った理科の学習ができました。

9月からの3年生の授業では、虫の観察が中心になります。虫のすみかや食べ物、虫の中でも、「昆虫」の体のつくりには、どんな特徴があるのかなど、実際に虫をつかまえて、観察します。秋には、大きく成長したトノサマバッタやショウリョウバッタが見られるので3年生のみなさんは楽しみにしてくださいね。(T)

季節の生き物

クマバチ(熊蜂) コシブトハナバチ科

この時期、花の咲いた木のまわりを歩くと、ブーンという大きな虫の羽音がします。音の主が黒くて丸い体に黄色いベストを着た大きなハチだったら、きっとクマバチでしょう。クマバチの別名クマンバチは、スズメバチと共通のため、クマバチを刺すハチだと勘違いする人もいますが、花の蜜が好きなハナバチの仲間、とてもおとなしいハチです。意地悪をしなければ、そばで観察していても大丈夫ですよ。クマバチは成虫で冬を越し、メスは木の幹に穴を開けて巣を作ります。いつも忙しそうに花から花へ移動して、蜜や花粉を集めているのがメスです。ではオスは...？私たちの頭の上をぐるぐる回ったり、ホバリングしているのがオスです。オスは自分のなわばりを見回りしていて、他のオスを追い払ったり、メスにプロポーズするために飛んでいるのですが、たまにお嫁さんと間違えて、飛んできた別の虫に抱きついてしまうこともあるそうです。そんなところがお茶目で、私は大好きな昆虫です。(N)



スズメバチは黄色い顔に、お腹は黒と黄色のしま模様なので、見分けが付きま

7月9日(土) 自然観察会 雨天中止

「夏の夜の生きもの」

夏の夜には、昼間には見られないちょっとおもしろい生きもの(怖いものもいるかも)が見られます。ライトトラップに集まる昆虫や夜に咲く花などを観察してみませんか。

対象：一般・親子

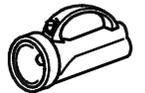
定員：20名

時間：18:45～21:00

持ち物：懐中電灯(一人1台)、動きやすい服装、虫除けスプレー

参加費：100円(保険代)

夜の彩湖は街灯もほとんど無く、かなり暗くなっています。暗い道を観察場所まで徒歩で移動しますので、安全のため、懐中電灯はお一人1台お持ち下さい。



7月17日(日) 生きものを育てよう 雨天実施

「スズムシ配布」

毎年恒例のスズムシ配布です。彩湖自然学習センターで代々受け継いだスズムシをお分けします。

対象：一般・親子 どなたでも

定員：先着100組 1組1セット配布します。

時間：13:30より センター4階学習室で配布

持ち物：スズムシを飼育する容器(土を入れたもの)

参加費：無料 スズムシ配布については、特に申込みはいりません。



7月24日(日) 自然観察会 雨天実施

「昆虫ウォッチング・夏」

講師の先生と一緒に、夏の昆虫観察をしませんか？

対象：一般・親子・小学生(3年生以下は保護者同伴)

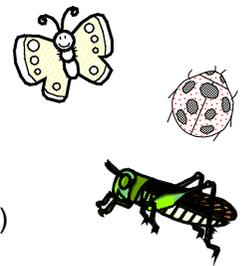
定員：40名

時間：10:00～12:00

持ち物：動きやすい服装、飲み物、虫捕り網、虫かご(貸出可)

参加費：100円(保険代)

日陰がほとんどありません。暑さ対策をしっかりとってお越しください。



申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)
なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。(スズムシ配布以外)

:048-422-9991

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。